

西讚府志

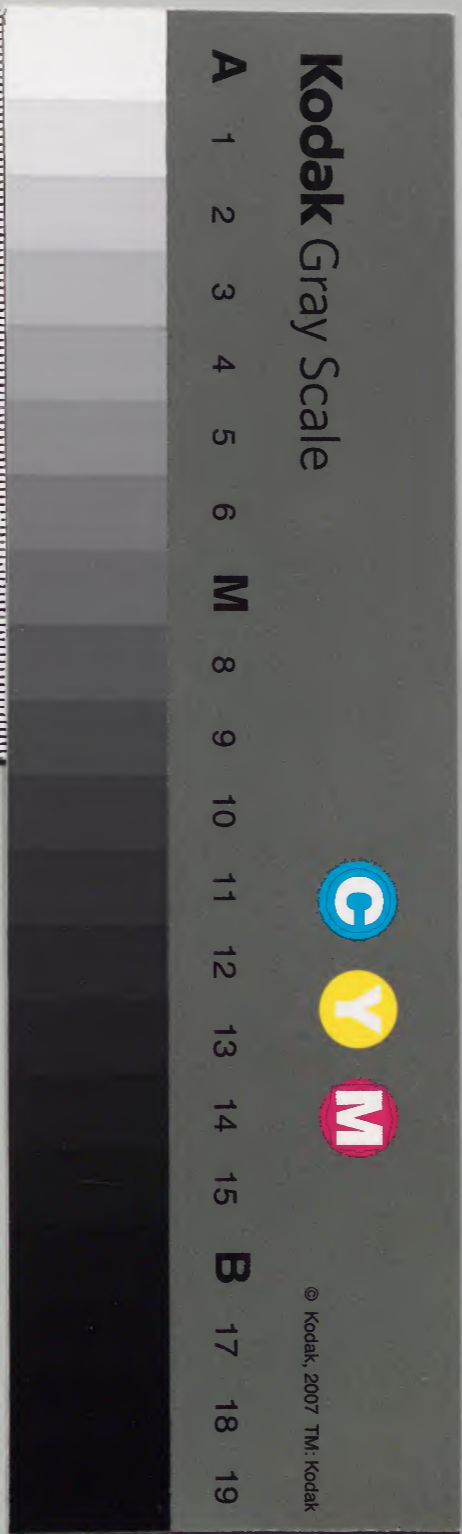
物産
造立
附録

四十九、五十二

庫	文	閣	内	
五	二	九	三	和
各	一	七	五	書
二	七	四	〇	類
家	冊	號	類	

(四十冊)

内閣文庫	
番號	和 29354
冊數	17 (14)
函號	175 17



西嶺府志

西嶺府志

物產
造工
附錄
攝
四十九
五十一

西讚府志

府志卷第四十九

日南物産

穀類附 麻 檀 甘蔗 茶 煙草 藍 紅花

稻

同シキアリ、名同クテ種異ナルアリ、今世ノアルマ
ニ從ヒテ、舉ルノ三草木鳥獸ノ類モ、大抵世ニ多

カルヲ載ス、

稻

財田ニ産ル米最ヨロシトイヘリ、地ノ名モ昔珍ラシキ

西讚府志

内一
西讚府志

稻生タリシヨリ得タリト生駒記ニ見ユ

鷹尾 供采 阿加 加美 池田 下所 伊豫 西國

以上 横波 以上 古保禮 杜日 比女 大川 大門 以上

目黒 黒下所 萬倍 百俵 天竺 阿波 國府

瀧宮 弥六 井手撰 鎌撰 以上 ナドイヘル種尚多シ

糯

赤糯 黒糯 銀糯 盆糯 加賀 伊豫 藪潜 福髭

ナドアリ

私

赤白ノ二種アリ

麥

早鬼 晚鬼 白麥 青麥 水色 矢筈 禪門 蠟燭

茶茺穂 大頭 鎌折 金山 池田屋 京標 采標

ナド種イト多シ

小麥

麻村ヨロシト云索麵ヲ製ルニ此地ニナレルヲ交ユレ

バイトヨシトイヘリ

蜈蚣 白皿 高坊 石割 ナドノ種アリ

蕎麥

鷓目 鼠目ノ二種アリ、

粟

猫手 帚尾 麴鼠 餅粟 秋粟 小粟ト丹波粟 ナド

アリ

蜀黍タカキビ 鐘黍ワリカネキビ 玉蜀黍

小黍

稗

早稗 伊勢稗ト大モ 田稗ト小モ ナドアリ、

大豆

秋夏又黒赤青白ナドノ種アリ、

赤小豆

大小二種アリ、

豇豆サゲ

黒赤白小ナドアリ、

十八豇豆

緑豆ゴドウ 蠶豆ソウマ

菼豆チニシ

垣豆 刀豆

胡麻

秋夏又黑白油ナドノ種アリ

大麻

雄雌ノ二種アリ、雌麻ハ苴麻トイヒテ實アリ、雄麻ハ梟トテ花咲テ實ナシ、

撞

類聚國史曰、桓武天皇延暦十八年七月、有一人乘小船漂着三河國、云々、大唐人等見之、僉曰、崑崙人、閱其資物、有寶謂之綿種、云々、同十九年四月庚辰、以彼綿種、賜紀伊淡路阿波讚岐伊豫土佐及太宰府等諸國、植之、

神樂 朝鮮出青木 布里分心不切下茂 絹綿

ナドイヘル種今多ク作レリ、

甘蔗

寛政年間作り出セリ、コノアタリニテハ塩屋村ヲ始トス、今白方吉津麻村中姫アタリノ村々ニ多クワクレリ、

茶

七箇村アタリニワリ、殖タリ新目村ニ最多シ

煙草

山畑ノ外殖ルヲ稀ナリ

藍 シロ 紅花

藍ハ萩原中姫辻村ノアタリニ作ルモノアリ、多クハウ

エズ、葉藍ニテ鬻クト云紅花ハ今作ルトコロイトスク

ナレ

菜蔬類

蘿蔔 タイコン

佐文村ヨリイト早く出イツモ梅雨ノ比種ヲ下レ七月

比ヨリ賣ニ出多鬻クモ此村又買田村ナド之、又原村大

濱浦ナドニナレルハ味殊ニ勝レタリ

芋

甘藷

薯蕷

芋ハ大野原ヲヨレトス尚此アタリノ村ニハ多ク作り

テ半ハ産業ヲ助ケリ甘藷ハ六七十年前ワカタヨリ作

リ初リ浦邊又島ナドニ多ク作レリ中ニモ大濱浦ヨリ

出ルヲヨロシトイヘリ薯蕷ハ南鄙ノ山里ヨリ多ク出

蕪菁 カアラ

菁 ミナナ

芥菜 カレンナ

百葉 徳若

胡蘿蔔 ニンジン

韭 ニラ

蒜 シラカ

水晶葱 ラツキヨ

分葱 ワキ

百...

胡葱 マツキ

葱 ヒトモシ
根 トモ
深

繁蕒 ハコヘ
雞鵬菜 トモ

藜 アサガ

蒿苴 ナ

水苦蕒 カハチ

蒲公英 タンホ

黃瓜菜 ウマコ

松菜 マツナ

接續菜 ツギナ
筆頭菜 トモ

黃鵪菜 タヒラ

三葉 ミツバ

牛蒡 ゴバウ

黃獨 カシウイ

蕨 ワレビ

藜 アサガ

狗脊 ゴシ

水葱姑 クワ

芥菜 セリ

蕃椒 タウカ

罌粟 ケシ

生薑 ショウガ
内野 ヨリ
多々 タタ
出村

土芋 ホト

草解 クサト

百合 ユリ

菠薐菜 ハレンサウ

菌類

松茸 マツタケ

大麻山善通寺山ナルヲヨシトス香氣ヨク味スグレタ

リ多クハナシ粟井井關アタリノ山ヨリ多ク出

麥蕈 シロウロ

有明濱ナルヲヨシトイヘリ外ナルヨリ大ニシテ味又

ヨロシ又大濱浦ナル内濱ニ産ルモイトヨシ

椎茸 シメジ

榎茸 カシタケ

榎茸

柳茸 ヤナギタケ

柞茸 クサタケ

初茸

赤茸

濕地茸レメ
黄ア白リ

木茸

瓜類

胡瓜

越瓜

丸亀平山又土居村ナル清水ナドヨリ早ク出

壺盧ユウカホ

南京瓜

茄子

葛原ノ村人多ク作りテ四方ニ鬻ク

苦瓠クハ

西瓜スイカ

絲瓜ヘチマ

甜瓜アヲ

干瓢カンピョウ

菓類

梅

桃

柳

梅ハ七箇村香田浦ナドニ多シ桃ハ下高野ニ多ク作レ
リ春ハ花サヘメヅルバカリナリ又近キ比ハ宮田村ニ
モ多殖タリ柳ハ河内村ヨリ出ルヲヨシトス味イト異

朱サ藥ガン

彼是ニモ殖ツレド志々島ニ一株アリ味外ナルヨリ勝

葡萄

百

粟島ナル梵音寺ニ大キナルアリ味又イトヨシ

杏 アンズ 栗 クリ

石榴 カクロ

梨子 ビロ 橘 ダイダイ

榎櫨 カウリ

榲桲 クワ 包橘 タチバナ

乳柑 クネンホ

柑子 カン 橙 ダイダイ

柚 ユズ

撥櫛 ユカウ 金柑 キンカン

枇杷 カキ

楊梅 ヤマモ 櫻桃 ユスラ

無花果 イチジク

李 リ 棗 サウ

榲桲 クワ

草類

鷺艸

生間村馬瀬ノ野山ニアリ其花白鷺ノ如シ

雁足

佐文村ノ山谷ニアリ

麻黄

醫心方曰麻黄和名阿末奈出讚岐國

天南星

大麻山ナルイトヨシトイヘリ加賀ノ白山ヨリ出ルニ

價相シケリ

風蘭 ハ 岩松

風蘭ハ三崎ノ山ニ多シ、岩松ハ雨霧山ニ最多カリ、

桔梗 ハ 女萎 蒼朮

白朮 ハ 貫衆 志太 白頭翁

防風 ハ 當藥 黃芩

柴胡 ハ 獨活 升麻

苦參 ハ 白茅 龍膽

細辛 ハ 女郎花 芒

紫陽花 ハ 繡線菊 刈萱

山橘 ハ 水仙 鐵色箭

蛇牀子 俗藪 芍藥 木香

牡丹 ハ 三稜 藿香

香附子 ハ 馬蘭花 蘭花

春蘭 ハ 荊芥 薄荷

積雪艸 連錢草 壺艸 紫蘊

菘 ハ 自然粳艸 狗尾穗

沙參 ハ 曼珠沙花 菊

野菊 ハ 艾草 茵陳

黄花蒿 カハラヨモギ

夏枯草

旋覆 ヲククルマ

雁来紅

鷄冠

白粉草

薊

蘆

荻

芭蕉

檀特花

蘘荷

木賊

燈艸

牛膝

紫苑

麥門冬

萱艸

鴨跖草

葵

酸漿

迎春花

鼠麴 ハコケネ

决明子

地膚

路

豆和

瞿麥 ナゲシコ

剪紅羅 センコウラ

眼皮花

金盞花

車前

葶藶子

鼠尾艸 ミウハキ

連翹

藜

水蓼

席杖 セト

碎米薺 シメダ

秋海棠

櫻草

千日紅

水引草

席尾草

藤袴

胡枝花 アヅキ

結縷草 カサネ

堇

菅

商陸

大戟

蓖麻

常山 クサギ

萬年青

草烏頭トリカブト

射干

玉簪キヨウリン

映山紅ツバキ

五味子サネカサウ

樹莓キイチゴ

旋花ヒルカホ

棣棠花ヤマフキ

葛

歡喜草ユキモチ草

烏扇

鳳仙花

芫花イハフチ

蓬蘽

蛇莓クナハハイナゴ

風車草カザクルマ

長春バウボウ

天門冬

半夏

鳶尾イナゴ

躑躅モトヲ、ヒ

兔絲子

覆盆子クハイチゴ

牽牛花

紫葳

瓜蒌仁

何首烏

草薺

木通

地錦

鈴掛草

蓮

菖蒲

浮萍

水葵

石韋

威靈仙

葎

千歲蘗

紫藤

水慈フトキ

花菖蒲

萍蓬草

眼子菜

席耳草ユキノシタ

白英

烏薺莓ウツクサ

忍冬

澤瀉

菱

石菖蒲

菰

石斛

藁本

地榆

白藪

蛇銜

王不留行

玄參

白芷

葭薈

藁本以下ノ數種今有無詳ナラズ延喜式ニ見ユ故ニ載

ス、

海苔類

青苔

白方浦ニトレルヲヨシトス年ノ内ニトレル最ヨロシ

雌苔

菘浦ニテトレリ海鬘ニ似テ柔ナリ

海松

託間大濱ナドニ多シ味亦他ニマサレリ

海藻

海鬘

海蘿

海鬘

神馬藻

海蘊

若布

木類

松

大樹コ、カシコニ多シ枚擧ニ違アラズ生間村谷奥山

ニ黄金松アリ其葉全ク黄ナリ高サ二間餘廻リ二尺八寸一株群松ノ中ニアリ此外五葉姫子ナドノ種モ尚世ニ多カリ

楠

大樹多シ

檜ヒノキ

箱浦中村等ニ大樹アリ箱浦ナルハ廻リ二丈五尺高サ五丈枝ノ茂リタル処三畝ヲ覆フ中村ナルハ若宮ノ祠ニアリ大サ三圍バカリ共ニ常ノ檜ニ異ナリ身檜ニシ

テ葉檜ニ似タリ俗呼テ檜ヒノキト云

南天燭

有木村ナル前山ニ多シ實ヲ結フ比ハメヅルバカリナリト云

銀杏樹イナブナ

大濱浦ニ大樹アリ

雁皮

俗ニヒヲノ木ト云五箇山ニ最多シ里人常ニ皮ヲ剥テ鬻ク美濃雁皮等ノ紙ニ作ルト云

椴

檜

栝

檜柏イガキ

披

柎

杉

桂

木犀

水木犀モッコク

幣辛夷シデユヅ

檜

天竺桂ツクウ

雞冠木カヘデ

瑞香ジンキョウ

黃蘗

厚朴

杜仲

漆

梓ソウ
志安加女加シヤカメ

桐

楨桐ケウキ

棟ツグ

槐

檀

合歡

木藥子モクロシ

檉

榎

柳

棕

榆

椶櫚

扇骨木

奈岐乃木

多羅葉

桑

楮

枳殼

危子

椴木

胡頹子

冬青マサキ

狗骨

鵝樹モナキ

木槿

馬醉木アヒヒ

衛矛ヒメギ

五加木ムカホキ

枸杞コウジ

楊蘗ウツキ

木芙蓉

山茶花

海石榴ツバキ

女貞木 テラツバキ

盤子木 ユシ

黃楊木 ツケノキ

接骨木 ニハト
ト多
モ圖

粉團花 チマ

糶花

瓢樹 ヒョウ

珊瑚樹

柗

杓 ヒヤク

夾竹桃

讓葉木 ユツリハ

百日紅

蜀椒

櫻

朱櫻

胡桃

楮木

鉤栗 イナキ

推

椽

榲實

檜

木天蓼 ヤマタビ

牡荊子

竹類

苦竹 マタケ

五箇山アタリニ最多シ

箭竹

股島又七箇村ナドニアリ

淡竹

筍竹

暴節竹 ユサシナク

寒竹 サムツク

紫竹

筱竹 オシタケ

篠

蟲類

龍

萬農池ニ住リシ龍ノ一、今昔物語見ユ、既ニ様異ノ條ニ

載ス、

秋蛙

和田村大谷山山脇村太治川ナドニ居レリ、土俗山カヘ

ルト云、

螢

處ニヨリイト稀ナルモアリ、岡本村ナリ、金隈高瀬村學

ノ淵古川村ノ川條ナドニ最多シ、萬農池ノ川條ナルハ、

形ヤ、大ナリ、世ニ萬農螢ト云、

蛸蛎

蝶螭

蝮蛇

蜂

蝶

蛇

蜘蛛

蠶螂

螺

蠶

燈蛾

蜻蛉

蝙蝠

斑猫

蛭

蟻

蟹

蠅

壁蝨

蝨

芋蟲

蚊蠖

蟬

蚱蟬

蟪蛄 ワケク

茅蜩 ヒツ

天牛 カミキリムシ

螻蛄 ケウ

衣魚 シ

蜚蠊 アブラムシ

莎雞 キリク

蟋蟀 コホロキ

冬蝻 カマキリ

螻蛄 ケウ

蟲蝻 コホロキ

蟻蝻 ハタ

松蟲 マツ

金鐘虫 カネカネ

鑢蟲 カネカネ

蝨 シ

蚊 カ

子子蟲 ホウフリムシ

蚋子 ハエ

蝨 シ

蓑蟲 カマキリ

守瓜 ウツク

菊帛 キク

蟾蜍 カハル

蝦蟇 ヒキ

蜈蚣 ムカデ

蜘蛛 クモ

蠹 ハカミムシ

蚯蚓 ミミズ

蝸牛 カタツムリ

豉蟲 シ

魚類 イサナ

鯛 タイ

處々ニテ常ニモトレド、櫻鯛ヲ最モヨシトス中ニモ
 大濱浦ナル楠濱ニテトレルハ、世ニ金山ト呼ヨヒテ味イト
 スクレタリ、早ク得ルモ此浦ナリイワモ節分ヨリ五十
 日餘ヲ候トス外ヨリモ此ヲリヲ考ヘ来リ求メモスル
 ナリ春尚サエカヘリヌレハ色ヨクシテ鱗殊ニ艶ツヤカナリ、

四月末ツ方ニ至リテハ、肉彘ニシテ味ヤ、劣レリ、
 山海名産圖繪ニ曰、鯛網讀州榎股ニ捕る事夥シ、是等皆
 手操網を用也、海中巖石多き所にてハ、ブリとワリの
 よて追て、便所ニ湊む、ブリとハ薄板ニ糸をつけ、長き繩
 よ多く列ぬ付け、網をおくが如く引まゝすれば、魚是ニ
 襲られ瞿々として中流ニ湛浮ひ、ブリの中真ニ集るお
 り、此繩の一方ニ三艘の船を多端ニ繫く、初二艘ハ乗人
 三人よて二人ハ繩を引き、一人ハ櫂の棒或ハ槌を以て、
 鼓て魚の分散を防ぐ、此三艘の二をかつら船といひ、二

を中船といひ、先ニ進むを網船といふ、網舟ハ乗人八人
 よて一人、麾を打ふて七人ハ櫂をとる、又一艘ブリ繩の
 真中の外ニ在て、繩の沈まざるが爲、又繩を付副て是を
 ひうへ乗人三人の内一人ハ繩をとり、一人ハ櫂をとり、
 一人ハ麾をふりて、能程を示せハ先ニ進む、二艘の網
 船ナリ、繩の左の方より麾を振りて櫂を押切り、ひうへ
 船の方へ漕よすれば、ひうへ舟ハブリ繩の中をさして
 漕入る、網舟ハ繩の左右へ分れて向ひ合せ、ひうへ繩の
 あたりよりブリ繩よりさして、網とブリの外面へ

すべらせおろし、弥雙方より曳は是を見て初兩端の二艘繩を解放せばひかへ舟の中へ是を手とりあける跡ハ網の漕よせく、終り網舟二艘の港板を遣ちがへ打よせ引よせらるよ、魚亦漏が如く踊りあがり、網を潜きて頭を出し、かゝこみ尾を震ひ閃々として電光よ異ふらに漁子是を攪網を以て小取船へ罾ひうつし、小取船乗人三人皆艫を採て磯の方へ漕てよするあり、かゝて捕るをむらと云

右フリ繩の長三百二十尋大網ハ十五尋深さ中よて

ハ尋其次四尋其次三尋あり、上品の芋の至りて細き魚を以て、目ハ指あり、アバあり、尻子あり、重石ハ竹の輪を作り、其中へ石を加へ糸よて結ひ付て鼓のあつべのゴ、尤網を一疊二疊といひて何疊も繼合せて廣くに其結繋ぐの早業一瞬をも待たば一疊

馬鮫

櫻鯛ニ後ル、十日バカリヨリトレリ是モ鯛ト同ク處々ニ網ヲ下ス得ルノ外ノ國ヨリモ最多クテ味又ス

カレタリ、鯛馬鮫共ニ始テ得タルハ、價更ニ限りナシ、
山海物産圖繪ニ云、鱸ハ讃州ノ流リ網ヨテ捕ム、五月以
後十月以前ノ多ク、大なる物ハ長六七尺、小も及ム、漁子
魚ノ集マシムト、數十艘を連ねて、魚ノ後より漕まハシ
追ふ、其ノ甚クハ、魚漸ク馮虚トシテ酔ガ如ク、
其時先ヨ進ラシム舟より、石を投げてい、驚ッ、
引カヘリテ遁ヒトスル期を見タム、網をちり、一
尾も洩セ、ト、是を大網又、ちり、ともい、あり、さ
て網をた、攔網、て、く、ひ、と、る、ふ、と、

今按ニ、五月以後十月以前トイヘレド、今ハ早キ時ハ、

三月下旬ヨリ、五月上旬ノ比マデナリ、

海鰻

鰻

梭子魚

豊田郡ノ海濱ニ、多クトレリ、

鰯

阿以

鰯

大濱宮浦ナドニ、最多クトレリ、

鰻

溪鰻

鰻ハ坂本ナル、深川ノ外ニアル、ナシ、形玉筋魚ノ如ク

ニテ、色イト白シ、近キ比ハイト少シ、今ハコヤノコトテ

是ニ似タル魚多クトレリ溪鯉ハ財田川ニ多シ

鮒 鯉

鮒ハイツコノ池川ニモ多ク居レリ大キナルハ尺ニア
マレルモアリ鯉ハイト稀ナリ昔ハ萬農池ニ鮒鯉共ニ
多カリト云

今昔物語ニ今ハむろい讃岐國那珂郡ニ滿濃池とて大
ふる池あり高野大師其國の人を愍みて人を促して築
きあへる池あり遥ニ遠く堤を築きあへる高うり
れば池といはれへて海おどのやうに見えり廣きハ

かあり居人のうらみ見ゆる程あれば思ひやるべ
し池築て後々すれすて久しければ其國の人田を流
くるよ早魃の時といへども此池よてたすかりければ
國の人悦ひあひり殊更上より數の川うそたれば
池の水常ニ湛てたゆるくとあく大小の魚あひり
くあり魚満てたえせさりり然るよ國司任國あり
る國中の者ども館ニ参りて物語おどしりてはいで
よあられ滿濃池よりあけりふく多き魚うそ三尺の鯉
おどもありひと語りらると守傳へ聞てほしく思ひい

りよもして此池の魚をとらんとやと思ふに池をりよ
深りれば人をいれて網をおく事あたはば所せん池の
堤よ大きある穴を通しければより水を洩して水の落る
所よ魚の入庵き物をかまへてとらんとてかくとらふ
ひりれば水走り出るよあふひて其穴より多くの魚
いつるを數計りもふく捕てりりかくて後よ穴を塞し
かと廣くある中よ大よ雨降て池の上より流れ来る河
の水よあふて池よ満て其穴よりして堤遂よくぞれて
池の水國中の田畠人家を損しぬ多の魚ハ流せ出て彼

すてよて人よとふきりりかくりり後ハ池の水少くあ
り雨降るとよ土埋りて池の跡かふちもあうりりり是
を思ふよ此人の慾心よよつて池を失ひりりるやん
ことあき權者の人を憐みて築めへる池を失ひりたよ
とかりあき罪ふるよ此池の崩よよつて多くの人の家
をとこふひ多の田畠よりあひさる罪いりたりり
やあつていとんや池のうらよあるとこかくれ魚をと
りさる罪誰人う負んやあつめて益あきわさあつる事
ありりと國人ハ其守を思ひ誹りある其池の堤の形ハ

今よ見おるとおむかふりつふへふるとあり

章魚 海鼠

章魚ハ志々島ニトレルヲヨシトス世ニ志々鮪トテ四方ニ鬻ケリ海鼠ハ莊内ニ多クトレリ中ニモ大濱ナル船越ノ瀬戸金山ノ洲障子洲ナドニテ得タルヲヨロシトス串海參ニ製ルモコナルヲ専ラ用ユ

馬刀 海老 白髪海老

馬刀海老ナドハ假屋浦ニ多クトレリ白髪海老ハ塩木ノ濱邊ニ産リ外ニアルヲナシ大サ五六歩バカリニテ

色白シ浦人稗ノ粉ヲ餌ニシテ留モテトレリ一升價ハ十文

雪見貝 月日貝

雪見貝又ハ栗貝トモ號ク託間ノ濱ヨリ外ニトレル處ナシ十月比ヨリ三月ノコロマテアリ常ハヲサク見エズ月日貝昔ハ有明濱ニアリシガ今ハ稀ニモナシ

辛螺 蛤 牡蠣

辛螺ハ丸龜ニテ多クトレリ豊田郡アタリノ海ニハサラニ居ラズ蛤ハ豊田郡ノ海濱最多シ仁保浦ナルハ大

ケクレテ品ヨシ牡蠣ハ大キナルヲ牡丹牡蠣ト云平山
アタリニテ多クトレリ

蜆

三十年前ツカタマデハ坂本ナル塩入川ノ外ニアル
イト稀ナリシニ今處トシアラヌイナクイヅレノ川ニ
モイト多シ

和尚鰐

大濱アタリノ海ニ居レリ俗ニ賀女入道トイフ彼アタ
リノ漁人云ヲリノ網ニカレリアラクスレバ網ヲ破

ル酒ヲイト嗜メリサルヲリハ酒ヲアタフトイヘバ静
マリ居タリイツモ酒ヲアタヘテ去シムトルモノサラ
ニナシ

鱒

鯊

金魚

鮎

鰻鱺

泥鰌

鱸

海鯽

眼張魚

銅頭魚

鰮魚

義曾魚

幾酒期

鮠

鱸伊少イヲ世

鰯古乃志

鰯

鯖

鱧フカ

鰻ウナギ

阿名吳アノミ

柔魚スルメイカ

秦龜イシガメ

玉珧タマヒラキ

馬蛤カラスカヒ

鬼蟹オニカニ

河豚フクロ

赤鱈アカヒメ

玉筋魚イカサゴ

海蛇クラゲ

鼈カメ

淺蛸アサリ

田螺タニシ

皮剥魚カヒキ

鰈カヒ

烏賊イカ

養龜カメ

蟹カニ

榮螺ササガ

蝸螺カタツムリ

畜類

牛

奥白方ノアタリニ産ルヲヨシトイヘリ

馬

古託間ヲ牧地トセシテ見ユ粟嶋ナル八幡宮ヲ今モ馬

木トイヘリ是處ナルベシ今ハ多ク外ヨリ求メ來レリ

文德實錄曰貞觀七年十二月九日停讚岐國三野郡託磨

牧

犬

矮

猫

雞

鳥類

鶴

南海通記ニ曰、白鳥祠ニ番鶴アリ、雌雄ノ二翼秋来リテ冬ヲ送り、春ヲ迎へテ歸ルトキ、此澤ニ残り留テ夏ヲ踰秋ヲ迎へ友鶴ノ来ルヲ待テ、相更テ其後遠ク遊ヒ冬ヲ踰春ヲ迎テ、友鶴ト同ク歸ルト、上古ヨリ今ニ至テ變セズ、吾寛文ノ初仲夏ノ比、此神ニ詣テ番鶴ヲ尋ヌルニ雙鶴松間ニ傍テ暑ヲ凌キ憔悴シテ苦メリ、我其艱難ヲ經ルトヲ見ルニ付テモ神徳ノ有難トヲ感ス、誠ニ世ノ中

鷺

ノトハ、聞テ千金見テ一毫ト云トアレ、此番鶴ノ誠ニシテ不違是神怪ノ至也、高屋村ニ藥研谷ト云瀧アリ、甚嶮岨シテ鳥ナラテハ通ヒ難キ處ナリコト、ニ昔レヨリ雌雄ノ鷺住リ、此谷ノ左ト右ト二年替リニ巢ヲ作りテ子ヲ産リ、其子ハ何方ヘカ飛サリ又相傳フ年毎ノ正月元日ニハ、其子鷺四方ヨリ皆飛来リテ爰ニ集ルト云、

天鷺

鷺

天鷲ヒノトリハ生野村ニ生ウマレタル音イトヨシト云鶯ハ有木村ニ最多シ

鳩

室本村江莆草山ノ西ノ方ニ鳩ノ窟イハヤアリ是ハ海ノ上ニサレ出タル岩ノ下ニ窟十餘アリ海ヲ去ルク三間許舟ナラデハ其下ニ至ルクヲ得ズ又猫貂ノ類ニ至ルマデ得至ラヌ處ナリ鳩其中ニ住リ朝ニ出テ夕ヘニ歸リ宿レリ其大ナル窟四アリ北ヨリ第一ノ窟入口一間三尺深サ二間三尺第二ノ窟入口一間四尺深サ三間第三ノ窟入口一間五尺深三間第四ノ窟入口二間餘深サ三間土俗鳩部屋トヨベリ

雀

土居村清水二十畝餘ノ竹叢アリ夕暮ニ至リ雀来リ宿ルク幾千萬ト云クヲシラス其噪リ聲アタリ數町ノ外ニ聞ユ

鳥

船越八幡宮ノ祭祀ニ八月十五日ノ朝香田浦ノ人神供ヲ奉ルニイワモ白羽ノ鳥カラスアリ是ヲ喰持クモチサレ去名ツケテ御

頭喰鳥ト云、香田ノ頭人ノ處ニモ、此事アリ、是ヲ以テ浦
人年ノ豊凶ヲ占フ、又上高瀬村楠井ノ宮ニモ此事アリ
ト云、

摸魚公

鳩

鷓鴣

鴛鴦

白鷺

蒼鷺

朱鷺

鷓鴣

鷓鴣

水雞

鷓鴣

鴝

割葦鳥

鷓鴣

鴨

野雞

山鷄

鷓鴣

鷺

蒿雀

鷓鴣

目白鳥

鷓鴣

鷓鴣

杜鵑

鳧

鳥鳳

鶉

糧鳥

駒鳥

豆麻里

啄木鳥

鷺

畫眉鳥

山雀

小雀

四十雀

鷹

鷓鴣

鷺

鷓鴣

鷓鴣

獸類

海獺

三崎ノ沖ナル神幸石ノ上ニ登リテヲリク卧セリト云

野豬

鹿

狸

貉

狼

豺

熊

兔

水獺

鼠

鼯鼠

鼯鼠

鼯鼠

栗鼠

貂

鼯鼠

獼猴

石類

泉州大鳥神社記曰石津者孝德天皇造伊岐宮之日其石從

讚岐國運置此津仍名

三代實錄曰元慶元年二月四日詔復讚岐國民俗三日緣造

大極殿石多勞役也

白礬石

續日本紀曰和銅六年令大倭參河並獻雲母中讚岐國白

礬石

扑消

延喜式ニ見ユ以上二種今有處詳ナラズ

消石

醫心方曰消石出讚岐國

沙木石

沙木山ヨリ出其石大小トナク形皆方ニシテ長キ者ハ
數丈ナルモアリ色黒ク鑲石ノ如クニテ質イト堅シ里
人用ヒテ梁又庭石ナドニナセリ最便アリ

白方石

奥白方ノ山ヨリ出予島石ニ似テ質柔ナリ石工刻ミテ
白燈籠水走井縁砌竈ナドニ作りテ四方ニ鬻ク山海物

産圖繪ニモ豊嶋石ノ一記セル條ニ此石ノ一イヘリ

金剛沙

同地ノ海濱ニアリ形楊梅ノ如シ因テ楊梅石トモイヘ

菖蒲石

新目村百々川ヨリ出石質川石ノ如クニテ薄墨ノ色ナ
ル菖蒲ノ文アリ宛彫ルガ如シ中ニハ花ヲツケタルモ
アリト云今ハイト稀ナリ

龜文石

託間浦唐島ヨリ出海石ニテ色黒ク亀甲ノ文付タリ。

垣衣石

室本村江浦草山ヨリ出質山石ニ似テ柔ナリ是ヲ碎ハ

中ニ垣衣ノ文アリ。

小判石

養浦ノ海濱ニ多シ青色ニシテ銀光アリ形判金ノ如シ

又色黒クシテ丸ク大サ梅ノ實ノ如キ石モ此濱ニ多シ

又白石トテ色イト白クテ丸キ小石モアリ

石蛤

和漢三才圖繪石部ニ讃岐國産石蛤其形蛤ニ似テ口ヲ
開ケバ土ノ如ク堅ク重キ石ノ如シトイヘリ今有處
詳ナラズ

山石

海石

川石

鍬石

右各其處々ニ多シ

山... 延喜式... 西讚府志... 延喜式曰讚岐國甲二領...

西讚府志卷第五十

造工

武器類

矛竿

古語拾遺曰手置帆負命之孫造矛竿其裔今分在讚岐國

毎年調庸之外貢八百竿云々

甲

延喜式曰讚岐國甲二領

刀

同書曰横刀七口、

古鍛冶系圖二、讚岐國鍛冶一家、

○清房

建保ノ比佐渡守、

國利

文曆ノ比清房ノ子、

國利

弘長ノ比國利ノ子、

友利

正應ノ比國利ノ子、友則氏打同銘、

友俊

元應ノ比友利ノ子、

行利

文曆ノ比清房ノ二男、

光宗

弘長ノ比行利ノ子、

秀延

正應ノ比光宗ノ子、

秀行

德治ノ比秀延ノ子、

業宗

承久ノ比清房第三子、高篠三郎太夫卜号、

萬寶全書曰、讚岐鍛冶業宗、高篠三郎太夫卜号、鑢横帶表目貫穴下二打、建治之比也、後三木二住久、

業宗

寛元ノ比業宗ノ子、

景宗

正應ノ比業宗ノ子、

景光

正中ノ比景宗ノ子、

心蓮

讃岐心蓮角鑢同鍛冶宗匠三品伊賀守正和二年ノ記

二見ユ、

光弘

京師愛宕山ノ代僧八木惠運當國ニ来リ、青海村ニテ

古刀ヲ得タリ、讃岐高篠住光弘ト云銘アリ、頗ル名作

ナリト云、

業宜

三郎兵衛ト称ス、宇多津ノ人ナリ、陸奥守包重遁世シ

テ行脚僧トナリ、其家ニ宿シテ秘書ヲ傳フ、是ヨリ其

作ル所ノ太刀最妙ヲ得テ、神靈アリト云、以上讃岐志

二見ユ、

弓

矢

胡籙

延喜式曰、弓三十張、征箭三十具、胡籙三十具、

南海治亂記ニ、香川郡井原ノ郷司漆原勘右衛門ハ、細川

勝元ニ仕ヘ、屢戰功アリ、勝元其偏諱ヲ賜ヒ、勝重ト云、寛

正ノ比、勝元將軍ヨリ征矢ヲ賜ハル、勝元受テ秘藏セシ

カ、一曰、是ヲ勝重ニ示セケレバ、是ハ我作りシナリトテ、

即テ沓卷ヲ解テ、篋ノ中ヨリ、讃州井原郷ノ住、漆原勝重

作之上、書ル刺ヲ出シケレバ、勝元驚キテ嘆賞セリ、勝重
居リシ處、今モ箭造トイヘリ、
十河物語ニ曰、三好隼人佐政ミカサスト申候、弓ノ射手、箭細工
ニスカレ、節陰フシカサヲ取事名人ニテ、十河ノツシカゲト、今モ
申候云々、
今按ニ隼人佐疑ハ民部大輔ヲ誤リシナルベシ、政泰
諸書皆存保ト作り、

竹器類

笊
籬

丸龜ヨリ、多ク是ヲ四方ニ鬻ク、圓ナルアリ、方ナルアリ
多ハ飯ヲ蓄フルニ用ユ、世ニ讃岐ザルトイヘリ、

節

葛ヲ以テ製ルヲ、世ニカヅラケンドト云、比地大村ノ人
是ヲ業トスル者多シ、

箒

竹ノ枝ヲ以テ作ルハ、世ノ常ナルニ異ナルヲナシ、
ヲモテ作レルハ、其制外ナルトカハレリ、仁尾浦又田村
ヨリ多ク出、

西...
讀...
志...

籠

籃

箕

籬

右ノ類皆常ノ品ニテ作ル者カタクニアリ、

瓦器類

瓦

方々ノ村ニ業トスル者アリテ用タラザルハナシ中ニ
モ丸龜瓦町ニ七戸アリ是ハ城築キ玉フ時召玉ヒテ宅
地ヲアタヘテ此業ヲナサシム今ニ至ルマデ各一段ノ
地ヲ賜フ

壘

鉢

壺

埴

盃

皿

茶椀

盆

坏

瓶

瓶盃壺盆椀坏等ノ類ハ延喜式ニモ見エテ調庸ノ條ニ
舉イヘリ西讚ニテハ近キ比竹田村ノ人丹波焼トテ備
前焼ニ似タルヲ製出セリ初丹波國ノ人ヨリ傳ヘレト
イヘリ又多度津ニモ志度焼ニ習ヒテ作りタルヲ四方
ニウリヒサゲリ

西...
讀...
志...

瓦竈 ミヤノクド

爐 カマド

涼爐 シヨロ

火鉢

炒鍋 イリカマ

壺瓶

風呂瓶

岡本村ニ是ヲ業トシテ作ル者多シ品イト卑シケレド
民家ニ用ヒテ大ニ便リアリ

調度類

綾錦

白絹

緋帛

縹帛

續日本紀曰和銅五年秋七月壬午令伊豫尾張略中讚岐等

二十一國始織綾錦

延喜式曰讚岐國調兩面五足二窠綾云々白絹十足緋帛
縹帛各三十足

錦織勘七八三野郡粟島ノ人ナリ幼ヨリ京師ニ遊ヒ鍵
屋某カ許ニ居レリ常ニ西陣ニ往テ織物ヲ習フ年十二
ノ時自ラ織具ヲ考ヘ作り初テ綴ノ錦ヲ織出セリ或時
人ノ家ニ傳ヘタリシ古織物アリ何物ナルヲ知ル人ナ
シ勘七見テ是ハ南天竺ノ物ナリ是舊幅廣カリシヲ三
ツ二分ツカテルモノナリトテヤガテ其繪様ニタレサルヤ

ウニ織足レテ舊ノ如クナセリ、是ヨリ其名四方ニ聞エ、
人皆錦織勘七ト呼ヘリ、文政四年家ニ歸テ死ス、

木撞モウツ

里人農ノ隙ニ作り、餘レルヲ賣鬻ケリ、三野豊田ナドノ
郡ヨリ多ク出、

晒木撞シヤウモウツ

豊田郡茂木町上市、下市ナドノ浦人多ク是ヲ製リ、イダ
セリ、アタリニ漆川トイヘルアリ、流長フシテ水イトマ
ワラカナリ、是ヲ晒スニ最ヨロシ、今ハ多ク諸方ニ鬻ケ

篠卷

丸龜多度津、姫濱、和田濱、ナドヨリ多ク出、

圓座

紙

墨

庭訓往来ニ讚岐圓座、同檀紙トアルハ、延喜式ノ當國ノ
貢物ノ中ニモ見エテ、昔ハ香川郡圓座村、檀紙村ノ製ル
所ナリシヲ、今ハ村ノ名ニノミ残りテ、製ル者ナシ、菅圓
座ハ、今モ東讚ノ貢物ニテ、鷓足郡法軍寺村ニ製ル者ア
リ、今丸龜多度津アタリヨリ、諸方ニ鬻クハ、皆蘭ヲ以テ

作レルナリ半紙塵紙ナドノ類ハ今モ製ル者ヲリクアリ昔ハ檀紙ノ外ニモ善紙ノ出レニヤ保則ノ傳ニ藤原保則曰讚岐國多紙又有能書者當赴彼國書寫修多羅阿毗曇等請為讚岐守トアリ墨ハ朝野群載ニ交易進上ノ中ニ讚岐國墨五十ト見ユ今ハ製ル者九龜ニ一戸アリ

鍋

釜

罐子

火鉢

鍔鑿

火架

豊田郡辻村ヨリ多ク出是ヲ業トスル者五戸アリ相傳フ昔近江國辻村ノ鑄工花稻村ニ来リ住テ此業ヲ始メ

レヲ踏鞴ノ火海ニウツリテ漁獵ヲ害ル由漁夫等ノ訴フルニヨリ原村ニ移リ居ラシム今其地ニ金神ノ祠アルハ鑄工ノ祭レルナリ其後故アリテ今ノ地ニ移レリト云此外ニハ九龜ニ一戸アルノミナリ是ヨリ以前ニハ萩原村ニ是ヲ業トスル者アリ是ハ既ク絶タリ今其處ヲ鑄物師岡トヨベリ

笠

蓑

傘

合羽

木屐

古笠縫ノ神ノ裔三野郡ニアリ笠ヲ縫リ其居リレ處ヲ

笠岡ト号クト、生駒記ニ見ユ、今ハ此類スベテ處々ニ造
ル者多シ、木履ハ上高瀬村ニ業トスル者多クテ、四方ニ
出セリ、

藁筵

比地大村アタリノ村人多ク織テ賣レリ、

團扇

澁團扇

網團扇

丸龜ヨリ多ク、諸方ニ鬻ケリ、是ヲ業トスル者、北平山ニ
最多シ、一年ニ製ル所、凡ソ八十萬ニ至ルト云、網團扇ハ
當時此地ノ人始テ造リ出セルニテ、諸方ニアルヲ聞

カズ

油

蠟燭

製ル處、彼是アリ、是等ハ用ユルニ足レルノ三十ナリ、

舟車類

船

福島町昔、中須賀トイヒシ時、船匠十八人始テ爰ニ家セ
リ、故ニ船ヲ造ルヲ業トスル者、今モ尚アリ、近キ頃平十
郎ト云者アリ、能船ヲ造リ、又廻船ノ舵ニ至リテハ、最妙
ヲ得タリ、名四方ニ聞ユ、

水車

金倉買田、大麻中之村、大野原村、黒粟井、本之大村、丸井有
木土居等ノ諸村ニ凡リ十六バカリアリ、中ニハ油トル
アリ、又麵粉采舂ナドノミニ用ユルモアリ

任載車

ヒトツクルマ、ダイハチクルマ
一輪車兩輪車共ニ作ル者、處々ニアリ、近キ比ニ至リテ、
用ユル者多クテ、馬ノ用カタ稀シ

人力車

近キ頃丸龜塩飽町ニ始テ造ル者アリ、一丈餘ノ車ヲ三

人シテ踏廻シウツキウツキ、春臼挽スルヲ、水車ニ異リタルナシ、因テ

撞ウツ實サネヲ粉ニシテ、油ヲトルヲ最便リアリト云

飲食類

蕪

延喜式曰、貢蕪番次、讚岐國十三壺

塩鯛

白干

同書曰、讚岐國塩鯛二十隻、白干十二籠

鯛子

鰻子

鱈子

鯛子、鰻子ハ塩辛ニ作レリ、鱈子ハ干タルヲヨシトス、イ

ツレノ濱邊ニモ多ク製レリ、加良須美ト号ク、

干鱧

串海鼠

干鱧ハ假屋浦ヨリ多ク出、串海鼠ハ莊内ヨリ出セリ、

日本風土記ニ、讚岐ノ名産小豆島ノ煎海鼠引田ノ海鼠

腸トアリ、

熬鰯

菘浦假屋浦又莊内等ノ浦々ヨリ多ク出、夏ノ頃トレル

鰯ヲ釜ニテ熬リ乾カシ、四方ニ鬻ク、一升五十錢ヨリ、八

十錢ニ換フ、秋ヨリ冬カケテトレルハ塩ニ漬テウルニ

漬鰯トヨベリ、價熬リタルヨリ卑シ、

塩

塩屋託間仁保ナドノ浦ニ是ヲ燒者多シ、中ニモ塩屋託

間等ハ塩畦ヲルクテイトヨシ、共ニ播磨國赤穂ノ人来

リテ、此塩畦ヲ開クト云事既ニ出ス、

麴

室本村ノ人古ヨリ是ヲ製ルヲ業トシテ、國內ニ賣レリ、

香川氏ノ時ヨリ、三野郡ヨリ西ノ諸村ニ醴又味噌ナド

造ルニ此村ヲ除テ、外ニ製ルヲ許サズ、香川之景ノ制

西讃村志

書今尚彼村ニ傳ヘリ、

讃岐國室本地下人等申、麴商賣事、先規之重書等、并元

景御折紙、明鏡之上者、以其筋目不可有別儀、若又有子

細者、可註申者也、仍狀如件、

永祿元六月二日、

王子大明神

別當多寶坊

今モ是ヲ製ル家、二十一户アリテ、彼村々ニ昔シノ如ク

ウリ来レリ、

醬油

仁保觀音寺ナドニ製ル家多クテ、諸方ニ出ダセリ、其製

法他ニ異リテ、味最ヨシト云、

酒

酢

味噌

造ル家カタクニアリ、名タハルハ聞エズ、

砂糖

製ル者處々ニアリ多ハ、黒砂糖ニテ賣レリ、

饅頭

丸龜ナル松屋名ヲ得タリ、又唐饅頭ハ長崎ヨリ傳ヘツ

ルトテ和田濱ナル長崎屋永徳屋ナド最名ヲ得テ他方
ニ鬻ケリ

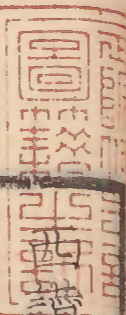
煎餅

丸亀ナル大吉名ヲ得タリ大吉ハ人ノ名ナリ此モノ其
法ヲ江戸ヨリ傳へ来ルト云

心トコテシ太

下吉田村永井ニウルモノアリ最名ヲ得タリ此處水イ
ト冷ニシテ最ヨシ
此外コ、ニテ作りナセルモノ尚數多カレド國處ニ

用ヒテ事足レル品ナレバ枚舉ニ遑アラズ



西讚府志卷第五十一

附錄一

網干上

播磨國

和名鈔曰播磨波里國府在銚磨郡行程上五日下三日管

十二明石賀古印南銚磨揖保赤穗佐用粟神崎多可賀

茂美囊

諸國名義考曰播磨國風土記云萩原里土中有井所以名

萩原者息長帶日賣命從韓國還上之時御船宿於此村一

夜之間生菽根高一丈許依名菽原即關御井故曰針間井
これ菽も針も飯字ふて高一丈許とあれむ襟ありか
れはり針間井國といひしを井を畧き二字と好字
る改られらるるべし又總國風土記も播磨國者往
昔大日本磐余秀天皇東征之後大國富命所領行也所号
播磨者國所造天下大神大穴持命與少彦名命巡行天下
之御時到座此國海邊詔此國如張弓國也詔給故云張濱
國今云播磨之縁也ともあり又古事記傳も赤染右衛門
集る播磨よと來らるる人の針をちこせと云々と云ると

藤原明衡新猿樂記も集諸國土産云々播磨針と云ると
を引て針よもよもあるのと云れり

今按ニ者國ノ二字下上ニ誤リシナルベシ

揖保郡

和名鈔曰揖保ハ伊比保郡内ニ揖保郷アリ爰ヨリ大名
ニハナレルナルベシ名義未タ思ヒ得ズ一説ニ魚吹ノ
故事ニヨリタルナリトイヘレド魚ハ伊乎ニテ假字違
ヒレバイカバアラン尚イハ赤穂ト隣リタルニヨリ
熟穂飯穂ノ義ニテ稻ニヨリタル名ニモヤアラン續日

本紀延暦八年五月ノ條ニ播磨國揖保郡大興寺賤若女
云々コ、ニ始テ見ユサテ新續古今集ニ大江嘉言深き
夜よ紅さゝるてきあはちり後りいひ比湊り千鳥あく
ふとトアルハ此郡ノ湊ニテ綱干アタリノナリヤハ
夕揖保郷ノナリヤ今分レテ東西ニ郡トナレリ抑當
國ハ元弘ノ亂ニ赤松次郎則村功ヲ以テ守護職ニ補セ
ラレ昔繩白旗等ノ城ヲ築テ一國ノ政ヲ執玉ヒシガ七
世孫上總介則房ニ至リ勢大ニ衰ヘテ龍野山ノ城ニ居
レリ天正年中軍敗レテ阿波國ニ出奔ス天正八年織田

信長公一國ヲ舉テ羽柴秀吉公ニ賜フ秀吉公城ヲ姫路
ニ築キ玉ヒ居ルナ幾年モナクシテ羽柴美濃守秀長ニ
賜フ秀長ノ子肥後守家定家定ノ子右衛門佐勝俊相次
テ封ヲ襲フ慶長五年勝俊ノ封ヲ備中國足守ニ移シ玉
フニ及ンテ池田三左衛門輝政ニ賜フ輝政其家臣荒尾
但馬ニ揖保郡ヲ分チ與ヘ龍野城ニ居ラシム是ヨリ此
郡龍野領トハナレリ慶長八年池田氏ノ封ヲ備前國岡
山ニ移シ玉ヒテ後元和三年龍野城ヲ以テ小笠原信濃
守長次ニ賜フ長次封ヲ移サレテノ後寛永十四年是ヲ

我

先公ニ賜フト云郡内我讚岐ニ比レハ氣候少ク暖ニシ
テ海物陸産大ニ異ナルヲナレ但長生ノ人最多ク今封
内ニ就テ是ヲ問フニ九十以上ノ者六人八十以上ノ者
八十七人七十以下ノ者數シラズトナム

網干

奥濱新在家餘子濱等ノ三村ス網干ト名クルハ魚吹
八幡宮ノ祭祀ニ浦人皆漁業ヲ休テ其間網ヲ干テ祭祀
ヲナス是ヲ網干祭トイヘリレガ遂ニ地ノ名トハナレ

リ此地南ノ方海ヲ受テ伊津浦ヲ船泊リトス海深フレ
テ潮常ニ満リ室津ヨリ淡路ノ海ニ通フ其間播磨洋ト
呼テ往来ノ舟船上ル者ハ室津下ル者ハ明石高砂等ノ
湊ニテ風波ヲ候フ去ル文政十一年我郡代中石右衛門
風波ノ憂ヲ慮リ官ニ請テ伊津浦ニ七十五間ノ波戸
ヲ築ケリ是ニ於テ往来ノ舟船大ニ其便リヲ得タリト
云

治所

奥濱村ニアリ西ノ方九亀ヲ去ル一二十八里東京師ニ

至ル三十五里スミヤチ統治ムル所揖保郡ノ内二十八村高總テ
一萬石昔豐臣公姫路城ニ居玉フ時別館ヲ此ニ建テ、
游觀ノ處トス庭中ニ古松一株アリ鶴アリ巢ヲ其梢ニ
作シリ公是ヲ見玉ヒ此館ヲ名テ鶴松亭トイヘリ我
先公九龜ニ移ラセ玉フニ及ンテ此館ヲ治所トナシ玉
フ今アル所是ナリ故ニ今尚御茶屋凡イヘリ郡代奉行
目附等各一員ヲ置リ各交替アリ史掾シヤク以下ノ小吏ハ子
孫相襲フテ此地ニ居住ス

揖西郡

福井莊

與濱村

東西三町八間南北三町東新在家龍野南新畑西濱田北

餘子濱等ノ諸村ニ隣シリ村高五百八十二石八斗九升六

合

田畝

六十四町六畝

内三十七町六段一畝二十步

畑

内三町八畝十九步

屋舗

租税

米 二百三十七石八斗五升七合

内 四十石

二石七斗二升六合

戸口

戸三百十一

口千二百三十五内

男六百三十一
女六百四

舟船

中船 百二十石

三

上荷船 三

三

漁船 二十六

二十六

林神祠

荒神祠

濱ニアリ祭祀五月二十五日ヨリ七日マデ古松一株了

リ濱之松ト称リ、向ノ人何カ年カ又カ五斗ニシテ

蛭子祠

村南ニアリ慶長年中創立、身立公代、後天正

佛寺

大覺寺

鶴立山ト号ク、浄土宗、本尊薬師、相傳フ天福元年、定翁隆

禪ノ創造ニテ、真言宗ナリシヲ、永正年中故アリテ今ノ
大、宗ニ改ム、當時古網干ニアリシヲ、弘治年中空鑿堯淳今
ノ地ニ移セリ、觀音地藏釋迦等ノ諸堂境内ニアリ、後陽
成天皇宸翰ノ蔓陀羅アリ、豐臣公外征ノ路次此寺ニ入
テ休ヒ玉フ、時ニ此宸翰ヲ見玉ヒ五山ノ長老ニ命セテ、
讚并ニ序ヲ作ラシム、又同天皇ノ天文五年四月二十二
日書セ玉フ、鶴立山ノ額等ヲ韞藏スト云、境内東西百間、
南北三十三間、

林松寺

醫王山ト号ク、真言宗、仁和寺末寺、本尊藥師、開基性空、境
内東西七十二間、南北二十五間、

淨念寺

樹園山ト号ク、一向宗、本德寺末寺、元和八年、俊澄ノ開基、

庵一

信淨庵ト号ク、女僧是ヲ守レリ、

川溝

川一派

揖保川ト号ク、源、實粟郡山崎ヨリ出テ、上餘戸ヨリ流レ

テ海ニ入レリ

官舎

番所一

魚問屋一

揖東郡

福井莊

天満村

東西六町三十間南北二十八間治所ヲ去ル一三十町東廣

畑領姫路南御料新開西長松北西土井料公等ノ諸村ニ隣レリ

村高千三百四十六石八斗一升八合八勺

田畝

百二町四段三畝

内六町三段八畝二十三歩

畑

九段九畝九步

屋舖

租稅

米 五百六十六石七斗一升七合

戸口

戸二百四十五

口千三十五内

男五百二十七
女五百八

畜産

牛三十七

神祠

蛭子祠

村中ニアリ社地一段四步

荒神祠

同上社地一段一畝

天満宮

村北ニアリ社地東西七間南北十六間

太神宮祠

村東ニアリ社地東西四間半南北十六間半

佛寺

聖安寺

等覺山ト號ク一向宗本德寺末寺開基等覺明應二年本
德寺ニ屬テ等覺寺ト稱ス正徳年中本山ヨリ今ノ號ヲ
賜フト云

源泉

高河原泉

村ノ乾ニアリ周圍方十四間清泉湧出金莢ト稱ス本別
八源泉ノ一ナリ

堰開

開四

長松村

東西三町三十間南北四十間治所ヲ去ル一二十八町東天
滿南吉美建部領西平松池田領北宮田山戸龍野領等ノ諸村ニ隣
レリ村高七百三十四石六斗九合

田畝

四十七町八段一畝

内三町八段一畝

九段八畝

屋舖

租税

米 三百二十八石九斗七升二合

戸口

戸九十三

口四百三十五内

男二百二十五
女二百十

畜産

牛十六

神祠

荒神祠

村中ニアリ

佛寺

佛性寺

涅槃山ト號ク一向宗佛光寺末寺延寶元年海順開基

堰開

開一

田井村

東西四十七間南北四十八間治所ヲ去ル一十八町東長松

南平松^{池田}領^田西北宮内等ノ諸村ニ隣レリ村高四百八十六

石三斗五升四合二勺

田畝

二十九町二段一畝二十四步

内二町三段八畝十一歩

畑

租税

米 百四十八石六斗八升八合六勺

戸口

戸三十四

口百五十一内男七十四
女七十七

畜産

牛六

神祠

春日大明神

村中ニアリ

橋梁

地一

長廿一間幅五尺

川一派

大津藻川ト號ク吉美村ヨリ村ノ西邊ヲ流レ夕川

東宮内村

東西三町二十三間南北一町五間東宮内東西一町一間南
北一町治所ヲ去ル十六町東田井西坂之上龍野北宮田
和久同等ノ諸村ニ隣リ南網干三村ト犬牙相接レリ村高
五百三十三石八斗二合

田畝

三十二町二畝

内五町三段六畝二十六步

五段五畝

畑

屋舖

租税

米山百七十三石一斗三升五合八勺古本

戸口戸口...

戸九十八男二百九十三 女百九十二同大...

三神祠...

魚吹八幡宮...

祭神玉依姬命神切皇后ホハタリ天皇祭祀八月十四日奥濱

新在家余子濱宮内田井津市場長松天満西土井熊見山

戸坂之上出屋敷和久系井朝日谷宮田高田下村吉美平

松等ノ二十二村日祭レリ相傳フ昔息長足姫オキナガシロ尊新羅

ヲ征玉ヒテ歸ラセ玉フ時御舟ヲ此浦ニ寄セ玉フ時ニ
玉依姬命海中ヨリ現レ玉ヒ多クノ大魚浮ヒ出テ沙ヲ
吹ヨセテ此地ヲ開ケリ因テ玉依姬命ヲ齋ヒ祭リテ敷
島宮トイヘリ仁徳天皇七年神異アリテ息長足姫尊譽
田天皇等ヲ合セ祭リテ魚吹三杜ト称ス其後欽明天皇
三十年末杜武内社重善社河厚神角戸神松尾神兒子神
將軍社宇賀社等ヲ造立シ中臣舍郷山田安郷同大塩等
ニ詔シテ神官トシテ其祭ヲ掌ラシム是今ノ河田田河
山田等諸氏ノ祖ナリ天長三年郷人苦瓜本道ト云者此

祠ヲ再建ス當時綱干郷神領タリシヲ平相國ニ押領セ
ラレワルヲ源右府ノ時ニ至リ又還シ附玉フ其後天正
四年淺井竹中二氏ニ奪ハレ遂ニ没収セラレシヲ我
先公龍野ニ入ラセ玉フニ至リテ高十三石四升二合ノ
地ヲ寄附シ玉ヒ傳ヘテ今ニ至レリ杜僧等覺院德壽院
桐官河田田河山田等ノ諸氏以下凡テ十一人
津市場村

東西四町三間南北一町三十六間治所ヲ去ルヲ六町東坂
之上南網干三村西下餘戸北和久等ノ諸村ニ隣レリ村高

七百八十五石九斗七升一合

田畝

四十九町二段五畝二十步

内十五町六段

畑

六段六畝八步

屋舖

租稅

米 二百二十三石九斗八升八合三勺

大豆 六十七石四斗三合

戸口

戸百二十一

口五百四十九内

男三百一十八
女二百一十八

畜産

牛三十一

神祠

稻荷祠

村中ニアリ杜地東西一間南北二十二間火祭場東西二

十五間南北二十間

蛭子祠

古稻荷ノ杜地ニアリ杜地方三間榎大樹アリ

佛寺

專稱寺

潮音山下號久一向宗本德寺末寺明應八年教了ノ開基

揖西郡

加茂莊

新屋村

東西三町二十間南北一町十間治所ヲ去ルノ東濱

田南新田北下村西釜屋等ノ諸村ニ隣レリ村高七百四十

七石三斗九升二合田合六石

田畝田畝

五十一町一段八步

内三町五段三畝十步

畑畑

内二町五畝八步十寸

屋舖

租稅

米 四百五石四斗二升一合

大麥 八十三石四斗五合六勺

戸百四十七男三百七十五

口七百七十九内女四百四十五

舟船

上荷船 五

漁船 五

畜産

牛二十四

今神祠

富島八幡宮

貴船大明神

二社相殿祭祀八月十四日釜屋黒崎新屋濱田等ノ四村

ヨリ祭レリ相傳フ八幡宮ハ永和ノ比武山城ノ鎮守ニ

テ赤松家世々尊崇セシ社ナリ貴船社ハ唱上ノ宮ト称

シテ今ノ旅所ニアリシヲ萬治ノ比破壊ニ及ヒテ此處

ニ移セリ社地東西二十一間南北三十六間後ニ小山ア

リ高サ五間廻リ百間、祠官佐野筑後圓尾信濃神子佐野
周防

一説ニ八幡宮ハ昔淡路國千山ニ鎮^リ坐^セシヲ何時ノ
比ニヤアリケン此地ニ移リ現レ玉フ時ニ圓尾五郎兵
衛ト云者淡路ヨリ来テ此神ヲ迎奉ントセシカド神歸
リ玉ハザルニ因テ其身モ爰ニ留リケルガ一夜高サ五
間餘廻リ百間餘ノ小山涌出即^ヤテ其山ニ神現レ玉フ是
今ノ富島山ナリナルニ其夜時モ違ハズ淡路國ナル千
山闕タリ是ニ因テ弥此神ノ淡路ヨリ来リ玉フ一明十

ルニヨリ今ニ至ルマテ彼千山ナル八幡宮ノ氏子等毎
歳八月十五日此神ノ迎船トテ彼是數艘ノ船ヲヨソヘ
テ播磨ノ方ヲサシテ乗出スニ其船海中ニスワリタル
時神ノ移リ玉フナリトテ漕還ルト云其圓尾五郎兵衛
ハ今ノ圓尾信濃ノ祖ナリト云

天満宮
惠美酒祠

二祠共ニ八幡宮社地ニアリ
佛寺

西嶺村志

海源寺

富島山ト號ク、禪宗龍門寺末寺本尊釋迦佛、開基詳ナラ
六中興盤珪、觀音多門天ノ二像アリ、觀音ハ行基ノ作ニ
テ其弟子徳道神龜三年正月大和國長谷寺ヨリ此地ニ
移セリ、多門天ハ傳教ノ作ニテ元慶年中叡山ノ圓覺家
島ニ流サレケル時彼島ヨリ此像ヲ持テ此處ニ安置シ
ト云境内東西三十間南北十五間
徳正寺
白雲山ト號ク一向宗東本願寺末寺文祿元年祐覺ノ開

基境内東西十七間半南北十六間

山林

海浦山

橋梁

橋一

川溝

川二派

中川ト號ク分レテ二派トナレリ其分流元川ト呼ベリ
官舎

番所一

濱田村

東西二町三十間、南北二町八間、治所ヲ去ル一町、東與濱北、新在家、餘子、濱ノ二村、西、北、屋等ノ諸村ニ隣リ、南ノ方平野ニシテ、海ニ向ヘリ、村高五百二十石三升三合一勺、

田畝

四十九町八段九步

内十五町一段六畝二步

五町五畝四步

畑

屋舖

租稅

米 二百五十石五斗七升六合二勺

大麥 十六石七斗三升四合九勺

戸口

戸 二百九十二

口 千二百九十五内

男六百八十七
女六百八十七

舟船

中船 百石ヨリ九十石

上荷船 六十石ヨリ五十石

小船 二十石

漁船

十六

畜産

馬 一匹
牛 一頭
猪 一頭
羊 一頭
鶏 一羽
魚 一尾

牛三十七

神祠

蛭子祠

村南ニアリ、寛永年中灘屋道也、建立社地東西二十間、南

北七間

稻荷祠

大村中ニアリ

佛寺

龍門寺

天徳山ト号ク、禪宗妙心寺末寺、本尊十一面觀音、寛文年

中我

先公歸依ニ因テ、方六十間ノ地ヲ盤珪ニ賜フ、盤珪是ニ

於テ邑豪ヲ勸進シテ、建ル所ト云、寺田九町八段五畝、上

步

西方寺

安樂山ト号ク、淨土宗禪林光明ニ寺ノ末寺、天文二年宣

譽創立ス、文祿二年豊臣公朝鮮ノ生口ヲ此地ニ置リ、其

中ニ一人ノ童子アリ、常ニ錦囊ヲ懷ニシテ、姑ク七是ヲ

西言所誌
離サズ舟人又兵衛怪テ故ヲ問曰是先祖ヨリ相傳フ釋
尊ノ佛牙并ニ空海直作ノ不動尊ナリ我父ニ別ル、時
受傳ヘシナリト云又兵衛是事ヲ豐臣公ニ聞エシカバ
彼童子ヲシテ此寺ニテ薙髮セシメ名ヲ李珍トイヘリ
公因テ五石ノ田ヲ賜フ相傳ヘテ今尚アリト云境内方
三十間

龍源寺

孤雲山ト號ク一向宗本德寺末寺永正年中了慶ノ開基
相傳フ本尊彌陀佛ハ實如ノ筆ニテ塩木善太夫ノ念持

佛ナリシガ善太夫天文十九年正月二十五日備前ノ沖
十二テ海賊ニアヒケルニ彌陀ノ靈驗ニヨリテ其難ヲ免
東レタリ因テ此寺ニ納ムト云
庵四
義德庵圓照庵清瀑庵心要庵

山林

林一
但竹林ナリ東西十四間南北七十間

橋梁

橋一

長サ二十八間幅五尺

川溝

川一派

中川トヨベリ中嶋村ヨリ流レテ奥濱村ニ入レリ

釜屋村

東西一町五間南北一町二十間枝村東西一町南北一町四十一間治所ヲ去ル一二十五町東坊屋南黒崎西片村北山田加屋等ノ諸村ニ隣レリ村高三百三十七石一斗三升一

合四勺

田畝

三十三町七段六畝三步

内九段一畝二步

一町四段二十四步

畑 屋舗

租税

米 百五十五石七斗九升三合一勺

戸口

戸百五十三

口六百九十九内

男三百六十九 女三百三十九

百積村志

舟船

五段帆

四段帆 七段帆

一

八段帆

一

畜産

牛十五

神祠

荒神祠二

一八本村 一八枝村ニアリ

惠美酒祠二

同上

東言佛寺

阿彌陀堂

富島山ニアリ

山林

富島山

橋梁

圮

堰閘

閘一

川一派

富島潮川

トヨベリ

溝四派

一派枝村ノ中ヲ西ニ流レテ山田村ニ入レリ一派本村ノ中ヲ北ニ流レ一派片村ヨリ東南ニ流レ共ニ大樋ニ入レリ一派大樋ヨリ南ニ流レテ黒崎村ニ入レリ

黒崎村

東西四町十一間南北四十七間北村分東西一町六間南北

五十間治所ヲ去ル一二十五町東前屋西片村北釜屋等ノ

諸村ニ隣リ南海ヲ受リ村高六百九石二斗四升八合

田畝

四十九町一段六畝二歩

内一町五段八畝八歩

一町九段二畝二十三歩

租稅

米 二百五十石二斗三升四合三勺

戸口

畑

屋舖

戸百七十六

口七百一内男三百八十三
女三百八十三

舟船

七段帆

八段帆

三

九段帆

一

畜産

牛二十五

神祠

荒神祠二

西村北村ノ二處ニアリ

佛寺

德善寺

轉教山ト號ク一向宗本徳寺末寺

山林

武山

綾邊山

芝取山

羽子谷山

西山

丸山

陂池

羽子池

前田池

折敷池

橋梁

地一

源泉

西嶺村

篠井清水

本州十水之一最冷泉ナリ

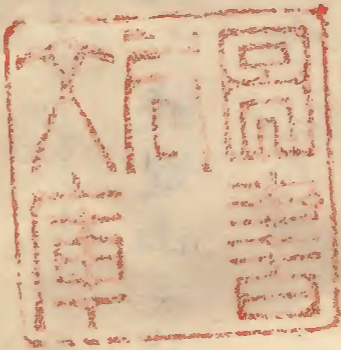
浦篠井水

堰開

開一

川溝

川二派



一ハ富島川一ハ船入汐川共ニ良ノ方ヨリ申酉ニ流レテ北村西村ノ間ニ入レリ

塚墓

墓一

荒神山ニアリ菟原孫三郎墓石祠アリ近キ比或人此アタリヲ開キテ畑トナセリ一夜ノ間ニ踏荒レテ大キナル人ノ跡アリサテ開キタル者ノ家擧テ狂氣セリト云

塚穴

凡二十二アリ多ハ崩レタリ中ニ室岩正玄芝取山等ノ塚最大ナリ室岩塚長サ三間幅三尺正玄塚長サ四間三尺幅四尺芝取山ノ塚長サ三間幅四尺

野瀬村

此地龍野領卜犬牙相接リ、縦横準正ナラズ、治所ヲ去ル
三里東馬場南室津北相生等ノ諸村ニ隣リ、西ニ海ヲ受テ、
波戸了リ長廿二十間幅八尺村高七十二石一斗七升四合

田畝

六町九段四畝二十六步

内三町六段八畝十步

一段五畝五步

租稅

畑

屋舖

米 二十六石九升七合五勺

戸口

戸三十九

口百六十五内男八十七
女七十八

舟船

五段帆 八

畜産

牛十八

神祠

賀茂皇大神宮

貴船大明神

二祠相殿祭祀六月八日九月九日

八幡宮

白髭大明神

二祠共ニ賀茂社境内ニアリ

佛寺

地藏堂

村中ニアリ

山林

上山 奥山

陂池

村池

橋梁

梁三

橋一

圮一

川溝

溝二派

二派共ニ山谷ニヨリ西ニ流レテ海ニ入レリ

塚墓

西嶺村志

塚穴二

餘戶莊

上餘部村

東西二町四十間南北一町三十間治所ヲ去ル一二十七町

東下餘部西上河原龍野北吉福沖代同等ノ諸村ニ隣リ南

ノ方揖保川ヲ帶ヘリ村高五百十五石六斗七升一合

田畝

四十六町三段二十步

内十九町二段一畝十八步

一町二畝六步

畑

屋舖

西...
...

租税

米 百九十六石四斗八升五合

大麥 一石六斗六升五合

大豆 九十七石六斗九升八合一勺

戸口

戸 百四十五

口 六百十八内

男 三百十五
女 三百三

畜産

牛 二十八

神祠

諏訪大明神

春日大明神

二社相殿社地東西十五間南北二十間

荒神祠

村中ニアリ社地東西九間南北十間

山王祠

同上社地東西三間南北十四間

佛寺

教連寺

法音山ト號ク一向宗本德寺末寺寛文中淳澄ノ開基
德源寺

佛勅山ト號ク一向宗本願寺末寺應仁年中徳道ノ開基
ニテ昔真言宗ナリシヲ慶長年中源明ト云者今ノ宗ニ

改ム境内一段一畝

山林

林一所

村南ニアリ千本松トヨベリ

源泉

蟠洞淵

長サ五百四間幅十二間八百二十寸内

堰開

開

下餘部村

東西三町二十間南北二町二十一間治所ヲ去ル一十八町
東津市場西上餘部南網干三村北和久高田等ノ諸村ニ隣
レリ村高六百二十四石六斗七升

田畝

四十六町七段五畝

内二十二町四畝二十九步

畑

一町三畝五步

屋舖

租稅

米百六石九斗四升七合三勺

大豆百八石一斗六升五合

戸口

戸百十口八百二十七内

男四百三十五
女三百九十二

舟船

渡船

畜産

牛四十

神祠

諏訪明神

妙見祠

二社相殿社地東西十一間南北十八間

荒神祠

諏訪ノ社地ニアリ

大將軍祠

村北ニアリ杜地東西八間南北十二間

佛寺

德榮寺

法水山ト號ク一向宗本德寺末寺開基玄益

川溝

川一派

揖保川村ノ西南ヲ流レタリ

揖西郡

加茂莊

土苧屋村

東西三町二十間南北一町十間東濱田南新田北下村西釜

屋等ノ諸村ニ隣レリ村高七百四十七石三斗九升二合

田畝

五十一町一段八步

内三町五段三畝十步

二町五畝八步

畑

屋舗

西
讀
所

租稅

米 四百五石四斗二升一合

大麥 八十三石四斗五合六勺

戶口

戶 百四十七 男 三百七十五
女 四百四十五

舟船 二十間 東 十間 西 十間

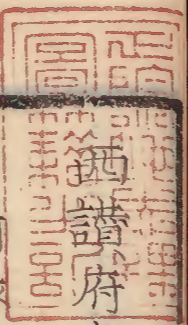
上荷船 五 漁船 五

畜產

牛 二十四

西
讀
所

西讃府志



西讃府志卷第五十二

附録二

網干中

揖西郡

岩見莊

下村

東西四十二間南北九十七間治所ヲ去ル一二十六町五十
三間東下餘部南苅屋西山田北中島等ノ諸村ニ隣レリ村
高三百三十五石三升三合五勺

西讃府志

田畝

二十一町七段八畝十九步

内八町三段四畝二十六步

二段一畝二十二步

畑

屋舗

租税

米 百六十一石五斗四升八合二勺

大麥六石三升二合一勺

戸口

戸二十五 口百十九内男五十六 女六十三

畜産

牛四

神祠

荒神祠

祭神那行都神文祿年中齋七祭ルト云

稻荷祠

以上二祠共ニ中堀彦左衛門鎮守山林ニアリ

山王祠

村東ニアリ

山林

小丸山

橋梁

梁六

川溝

川一派

大川トヨベリ、揖保川ノ分流ニテ、中島村ヨリ流レテ、
屋ニ入レリ、渡船アリ、

溝一派

中島ヨリ流レテ、苅屋ニ入レリ、

中嶋村

東西一町三十六間、南北三町十九間、治所ヲ去ル一二十五

町、東餘部、南下村、山田ノ二村、西碓岩、北上川、原真砂市場、以上

三村龍野領等ノ諸村ニ隣レリ、村高七百二十七石、四斗八升、四

合七勺、

田畝

五十五町三段六步

内九町八段五畝二十五步

畑

一町一段六畝四步

屋舗

租税

米 三百七十石九斗五升四合七勺

外二六斗

川役

大麥三石七斗六升二合一勺

戸口

戸百六十二

口七百五十七内

男三百八十一
女三百七十六

畜産

牛三十八

神祠

豊島八幡宮

祭神譽田天皇貞觀年中齋ヒ祭レリト云祭祀九月九日

中島下村上川原等ノ三村ヨリ祭レリ杜地二段六畝杜

林山ノ麓東西百七十五間

辨天祠

北山ニアリ杜地二段

八王子祠

北山ニアリ杜地二段

荒神祠

村前ニアリ杜地五畝

武内大臣祠

馬場ニアリ

佛寺

中寺

摩谷山ト号ク禪宗龍門寺末寺本尊釋迦佛正保四年祖

山ノ開基寺田二段六畝八歩

善徳寺

明應山ト號ク一向宗本徳寺末寺明應六年善徳ノ開基

山林

北山 南山 提山 鍛冶山 八王子越山

陂池

八王子谷池 砂留池

橋梁

梁十

地一

川溝

川一派

揖保川上川原ヨリ流レテ下餘部ニ入レリ川船アリ

溝二派

一派横關ヨリ分レ流レ一派山谷ヨリ流レ出共ニ下村

ニ入レリ

堰三

堰三

其中一ハ長サ三百間餘

山田村

東西四町二十三間南北二十間枝村アリ出屋敷トイヘリ

東西三十三間南北四十四間治所ヲ去ル一二十九町東下

村南釜屋加屋ノ二村西稻富北碓岩等ノ諸村ニ隣レリ村

高三百二十石八斗九升八合

田畝

十九町三段七畝十八步

内三町八段一畝十七步

三段一畝十七步

畑 屋舗

租税

米 百七十三石六升三合八勺

外二二升九合

山役

戸口

戸六十七

口二百九十二内男百四十八
女百四十四

畜産

牛十五

神祠

大歳祠

祭祀九月九日

妙叅権現

祭祀六月十五日、杜林一段八畝、祠官井口飛彈、

荒神祠二

村南ニアリ、

佛寺

海岸寺

妙叅山ト號ク、禪宗龍門寺末寺、本尊藥師佛、空海ノ作、此寺昔村ノ東ナル山上ニアリ、今其處ヲ舊藥師ト呼ベリ、此處ニ古墓アリ、去ル弘化四年ノ春、石棺アラハレタリ、相傳フ肥塚修理大夫政頼ノ塚ナリト蓋シ、此寺赤松家

ノ建ル所ニテ、彼地ニアリシヲ、後世爰ニ移セシナラン

ト云

淨泉寺

慈雲山ト號ク、一向宗、本徳寺末寺、文明年中、西了ノ関基

山林

萬燈山山東ア西リ岩黒山

橋梁

梁二

加屋村

此村半ハ賀茂莊ニ交レリ

東西七十五間、南北七十間、治所ヲ去ル一三十町、東下村南

釜屋、西片村、稻富村、北山、田碓岩等ノ諸村ニ隣レリ、村高二

百九十四石二斗六合

田畝

二十三町三段三畝十七步

内四町三段

四段四畝二步

租稅

畑

屋舖

米 二百一十一石四斗九升九合八勺

戸口

戸六十五

口二百八十二内

男百五十八
女百二十四

畜産

牛八

神祠

荒神祠

村ノ北ニアリ

山林

林 二所

橋梁

梁三

片村

東西四十五間南北二十二間治所ヲ去ル一三十六町東釜

屋西伊津北稻富等ノ諸村ニ隣リ南ノ方山相連レリ村高

二百七十石三斗八升二合五勺

田畝

十七町二段五畝二十四步

内二町一段八歩

畑

二段四畝十一歩

屋舗

租税

米百三十石八斗九升六合四勺

外二三升七合

山役

戸口

戸四十八

口二百十内

男九十五
女百五

畜産

牛九

神祠

伊勢太神宮

南山ニアリ祭祀八月朔日

佛寺

政源寺

惠日山ト號ク一向宗西本願寺末寺開基井口正順文明

年中三宅明道ト云者此道場ヲ預リ居レリ時ニ本山ニ

属テ寺號ヲ免サルト云

山林

前山 大神鼻山 大林山

橋梁

梁二

伊津村

東西一町三十間、南北二十間、出屋舗分、東西一町三十七間、南北二町十二間、治所ヲ去ル一四十町、東稻富、西室津、北碓岩等ノ諸村ニ隣リ、南ノ方海ヲ受テ、舟泊リアリ、村高二百六石二斗六升七合

田畝

十六町九段八畝二十三歩

内二町九段五畝二十一歩

二段四畝五歩

租稅

米 百三石四斗九升四合四勺

外二五升二合

戸口

戸百二十四

舟船

口六百三十六内

男三百三十九
女二百九十七

畑

屋舗

山役

五段帆 四十三

七段帆

十五

八段帆 六

畜産

牛十二

神祠

春日大明神

祭祀九月九日杜林九段五畝十七步

太神宮

天満宮

春日祠杜地ニアリ

荒神祠三

一ハ村中ニアリ餘ハ村東ニアリ

惠美酒祠

金毘羅祠

二祠共ニ南山ノ麓ニアリ

佛寺

観音堂

稻背山ノ麓ニアリ相傳フ元禄元年村人九郎太夫爰ニ

釣ヲ垂テ居タリシニ岩間ニ光リアルヲ見テ尋ヌレバ
觀音ノ像ヲ得タリ因テ是ヲ家ニ祭リタルニ其夜夢ノ
託アリ是ニ於テ一堂ヲ作りテ安置ス堂地一畝十二歩
山林方一町

山林

茶臼山 稻背山 北裡山 繩志女志山 家ヶ濱山

白山

陂池

奥池 同下池 宮下池 道正池 同下池 杼止古池

東池 繩志女志池 同下池 波狹池 村中池 同下池

以上
十二

橋梁

梁四

官舎

魚問屋一

稻富村

東西三町三十二間南北三十五間治所ヲ去ル一三十六町
東加家南片村西伊津北破岩等ノ諸村ニ隣レリ村高二百

五十三石四斗五升六合六勺

東田畝

十四町九段九畝八步

内二町三畝十三步

六段六畝八步

畑 屋舖

租稅

米 百二十三石三斗六升六合六勺

戸口

戸四十二

口百七十一内

男八十九
女八十二

南山畜産山 西山

牛十一

神祠

熊野三社權現

祭祀九月九日稻富片村ノ二村ヨリ祭レリ

荒神祠

村中ニアリ

佛寺

圓融寺

稻富山ト號ク、真言宗、仁和寺末寺、本尊觀世音、左右ニ不
動多聞ノ二像ヲ安置ス、並ニ行基ノ作天平十年行基ノ
開基、仁王門、金剛力士ヲ安置ス、行基菽谷ノ菽ノ木ヲ以
テ彫刻ス、什物紺紙金泥ノ法華經源慶ノ寄附心經及兩
界曼荼羅并ニ空海ノ筆、梶山ノ城主肥塚和泉守念持ノ
地藏尊等ヲ藏ス、境内東西五十間、南北三十間、寺田高十
石。

山林

南山 東山 西山

陂池

南池 北池

橋梁

梁二

碓石村

東西一町四十間、南北三十四間、南村分東西三十間、南北七
間、治所ヲ去ル一三十六町、東中島、南加家、西馬場、北市場、袋
尻浦部等ノ諸村ニ隣レリ、村高百五十石、二斗六升六合五
勺。

田畝

十四町一段四畝九步

内

租稅

米七十石六斗七合六勺

外二升八合

山役

戸口

戸三十四

口百四十二内

男七十一
女七十一

畜産

牛十

神祠

岩大明神

祭祀九月九日杜林山高廿九十間麓四十間

山林

北山 南山

陂池

西下池

同中池

同上池

東池

以上四

塚墓

塚穴五

凡ソ長サ二三間ヨリ幅三四尺ニ至ル

河内莊

馬場村

東西四十五間南北二町八間治所ヲ去ル一二里東碓岩南

伊津室津

姫路領

西野瀬相生

赤穂領

北金剛山原村

龍野領

等ノ諸

村ニ隣レリ村高三百九十六石四斗一升五合

田畝

四十町七段三畝十八步

内二町二段六畝二十六步

八段六畝十六步

畑

屋舗

租税

米 百四十二石四斗四升四勺

戸口

戸百二十

口四百八十七内

男二百五十七
女二百三十七

畜産

牛三十

神祠

岩大明神

祭祀九月九日

荒神祠

村中ニアリ

佛寺

元誓寺

清涼山ト踰ク一向宗本徳寺末寺

山林

堂箇端山

南山

北山

陂池

大池

西上池

同中池

東下池

同中池

同上池

以上

川溝

溝一派

山谷ヨリ流レテ、金剛山村ニ入レリ。

塚墓

塚穴 三

大ナルハ長サ三丈幅一間餘小キハ長サ二間幅四尺。

金剛山村

東西五十間南北五十五間治所ヲ去ルヲ五十六町東浦部南西馬場北山津屋等ノ諸村ニ隣レリ村高二百二十四石

八斗四升

田畝

十九町五段十九步

内五町二段三畝十一歩

畑

一段三畝二十四歩

屋舗

租税

米 六十一石五斗二升九合二勺

外 二一斗一合五勺

山役

戸口

戸四十八

口百八十七内男九十八
女八十九

畜産

牛十六

神祠

山王權現

祭祀四月申日九月九日杜地東西七間南北六十間

八王子祠

杜地方二十間

諏訪祠

村西小山ニアリ

荒神祠

同山麓ニアリ杜林方三十間

佛寺

龍隆寺

金剛山ト號ク禪宗龍門寺末寺本尊正觀音開基法道中

興佛濟元祿三年再建境内東西二町十間南北三町五十

間

藥師堂

右境内ニアリ塔ノ礎アリ穴アリテ水溜レリ俗ニ疣水
トヨベリ疣ヲ患フル人此水ニテ洗ヘハ三日ノ間ニ愈

ト云

山林

東北山 西北山 向山 村上山 小山

陂池

村中池 同下池

橋梁

圮三

十八川溝

溝一派

馬場村ヨリ流レテ浦部村ニ入レリ

塚墓

塚穴一

長二間半幅一間二尺

浦部村

東西七十間南北百間治所ヲ去ル一五十三町東袋尻南碓
岩西金剛山北今市等ノ諸村ニ隣レリ村高二百七十五石

七斗二升七合

東田畝

二十三町九段七畝二十二步

内六町二段四畝

畑

五段三畝四步

屋舖

戸口

戸五十九

戸口二百五十二内

男百二十九
女百二十三

一畜産

牛八

神祠

奥御前祠

祭祀九月九日

山林

北山 傳城跡山

橋梁

梁一

川溝

溝一派

金剛山村ヨリ流レテ袋尻ニ入レリ。

袋尻村

東西五十六間南北一町四十八間治所ヲ去ル一五十町東
市場南碓岩西浦部北今市等ノ諸村ニ隣レリ村高四百八
十五石二斗五升四合六勺

田畝

四十二町一段一畝十二步

内十三町九畝十一歩

一町八段九畝

畑

屋舗

租稅

米 二百三十九石四斗七升三合三勺

戸口

戸九十三

口三百七十三内

男百九十四
女百七十九

畜産

牛二十七

神祠

賀茂大明神

祭祀九月九日社林方六十四間

伊勢殿祠

右社林ニアリ

荒神祠

村中ニアリ

佛寺

超念寺

輪王閣ト號ク一向宗光善寺末寺天文十四年唯閑ノ開

基

不動堂二

賀茂明神社林ニアリ

庵一

本尊彌陀佛

山林

南山 傳城山 北山

陂池

南山池 同古池

源泉

河内泉

本州十水ノ一地名ヲ清水トヨベリ

堰閘

堰一

川溝

川一派

揖保川今市村ヨリ流レテ市場ニ入レリ

溝一派

浦部村ヨリ流レテ市場ニ入レリ

塚墓

塚穴三

一ハ南山ニアリ長サ二間幅一間一ハ北山ニアリ長一
間幅四尺一ハ傳城山ニアリ長三間幅一間

浦壁莊

市場村

東西六十四間南北四十五間治所ヲ去ル一四十七町東真砂南中島碓岩ノ二村西袋尻北菰原東用龍野等ノ諸村二隣レリ村高五百二十七石九斗二升九合七勺

田畝

四十二町一段三畝一步

内二十町六段八畝十一歩

一町三段一畝十五歩

屋舖

畑

租税

米 二百七十六石五斗九升二合五勺

戸口

戸九十五

口四百十六内男二百十二 女二百四

舟船

高瀬舟

畜産

牛三十

神祠

荒神祠二

一ハ村東端ニアリ、一ハ村北ニアリ、

蛭子祠

村北ニアリ

佛寺

浄教寺

一向宗光善寺末寺慶安三年二月傳與ノ関基

山林

南山 鍛冶山

橋梁

梁一

堰閘

閘一

川溝

川一派

揖保川袋尻村ヨリ流レテ真砂村ニ入レリ

溝一派

袋尻ヨリ流レテ揖保川ニ入レリ

神戸莊

山津屋村

東西一町二十五間南北一町二十三間治所ヲ去ル一七十

六町東

南金剛山西叅田北正條北山龍野等ノ諸村ニ

隣レリ村高四百八石二斗一升六合

田畝

二十四町四段四畝四步

内二町七段八畝四步

一段八畝八步

畑 屋舗

租稅

米 二百八石九斗四升六合八勺

外 二九升二合五勺

山役

戸口

戸五十三 内 男百十八 女百五

畜産

牛十六

神祠

荒神祠

村前山中ニアリ

佛寺

西樂寺

一向宗本德寺末寺明應五年九月西念ノ開基本尊彌陀佛ハ聖德太子ノ作ト云

山林

寺山 南山

橋梁

橋 二

圮 一

梁 五

川溝

溝一派

黍田ヨリ流レテ、正條川ニ入レリ、

塚墓

塚穴一

長二間幅一間

黍田村

東西二十二間、南北一町三十五間、治所ヲ去ル一里八町、

東山津屋南、西、北、等ノ諸村ニ隣レリ、村高三

百四十七石九斗五升六合、

田畝

内

畑 屋舗

租税

米

戸口

戸四十一

口百九十六内

男百十九
女七十七

畜産

牛十五

神祠

神戸大明神

祭神大己貴命、少彥名命、黍田、山津屋北山、片島、二塚、養久

大門、那波野原村等、九村ヨリ祭レリ、杜地北山村ト犬

牙相接リ、畝數

詳テ...

荒神祠

村中ニアリ

山林

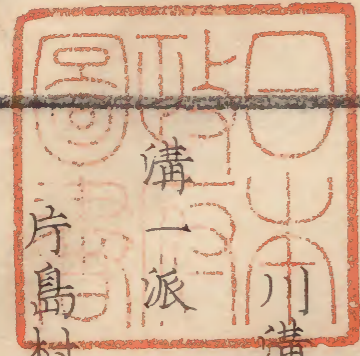
向山 村之上山 山野山

陂池

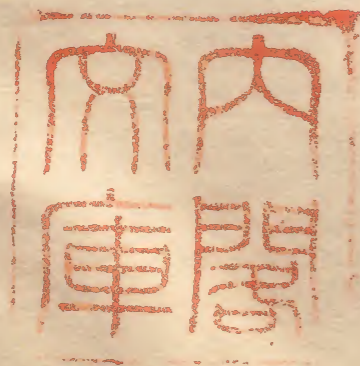
前池 奥池

橋梁

梁 一



片島村ヨリ流レテ山津屋村ニ入レリ



[Blank page]

[Faint, illegible handwritten text within a black border]



四言片七

